

鎌倉交響楽団

市民文化祭2009 特別演奏会
(第94回定期演奏会)



写真・武藤章

鎌倉芸術館大ホール 2009年11月7日(土) 14時開演

[後援] 鎌倉市教育委員会 鎌倉エフエム放送

Kamakura Symphony Orchestra

プロフィール

指揮 / 三原 明人 (みはら あきひと)



東京生まれ。東京芸術大学でヴィオラを専攻、その後桐朋学園とウィーン国立音楽大学で指揮法を小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エステルライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマン各氏に師事。さらにイタリアでゲンナジ・ロジェストヴェンスキー、モーシェ・アツモン、ドイツでベリベルト・バイセル各氏に師事。89年、オランダで行われた「第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」第2位、93年ドイツ・ハレで開催された若手指揮者育成のための「DIRIGENTEN FORUM」で最優秀ファイナリスト、96年ポルトガルで行なわれた「第8回リスボン国際青年指揮者コンクール」第3位(1位なし)入賞。89/90年ウィーン・フィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタント、91年より

オペラ作品などで外山雄三、広上淳一各氏のアシスタント、96年ベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務める。これまでにオランダ放送フィル、ドイツ・ハレ国立フィル、ブタペストMAV響、リスボン・メトロポリタン管、フィンランド・クオピオ響、ブルガリアの名門ソフィア・フィル、読売日響、東京都響、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、オーケストラアンサンブル金沢、大阪センチュリー響、広島交響楽団、俊成ウィンドなどを指揮して、コンサート、テレビ、ラジオなどへの放送録音、CD・映画音楽製作など各方面から高い評価を得ている。97年フィンランド・クオピオ響を率いて日本公演を行い、13曲にも及ぶオール・シベリウス・プロを指揮して各方面から高く評価された。04年京都フィル定期では、ピニャオのマリンバ協奏曲日本初演のほか、武満徹の「トゥリー・ライン」、シェーンベルクの室内交響曲を指揮し、各誌で絶賛された。91年には愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者として、現在は東京音楽大学指揮科及び同附属高校で、後進の育成にも努めている。今後の活躍が期待される、注目の指揮者の一人。

トロンボーン / 府川 雪野 (ふかわ ゆきの)



神奈川県出身。10歳からトロンボーンを始める。洗足学園音楽大学卒業、及び同大学大学院修了。卒業時に同大学代表として選出され、第67回読売新人演奏会、第13回ヤマハ金管新人演奏会の両演奏会に出演。トロンボーンを関根五郎、岸名和巳、ジャック・モージェ、神谷敏、三輪純生の各氏に師事。第1回東京音楽コンクール金管部門第1位。2008年、新日本フィルハーモニー交響楽団のニューイヤーコンサートにてトロンボーン協奏曲を演奏する。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員、洗足学園音楽大学講師。湘南トロンボーン協会メンバー。

鎌倉交響楽団第94回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 94th Regular Concert

[指揮]：三原 明人

Akihito MIHARA, Cond.

W.A. モーツァルト：
Wolfgang Amadeus Mozart

交響曲第39番 変ホ長調
Symphonie Nr. 39 K.543

L. グレンダール：
Launy Gröndahl

トロンボーン協奏曲
Concerto for Trombone and Orchestra

[トロンボーン独奏]：府川 雪野
Yukino FUKAWA, Trombone

----- 休憩 *Intermission* -----

B. バルトーク：
Bartók Béla

管弦楽のための協奏曲
Concerto for Orchestra

プログラム・ガイド

1. 交響曲第39番 変ホ長調 K.543 W.A.モーツァルト

モーツァルトの三大交響曲である交響曲第39番、40番、41番の3曲は、いずれも傑作として世界中で親しまれています。これらは1788年6月から8月にかけての2ヶ月の間に立て続けに作曲されました。この頃すでにモーツァルトはウィーンに移住しており、音楽の教授として、また作曲家、ピアニストとして生計を立てていましたが、生活は決して裕福なものではありませんでした。しかし苦しい生活を強いられながらも作曲される音楽は「天国的な美しさ」を保っていました。三大交響曲も例外ではなく、39番は「優美さ」を、40番は「哀しみ」を、41番は「崇高さ」を持っています。それぞれ特徴は異なりますが3つの交響曲が有機的に結びつき関連性をもって作曲されており、モーツァルトの作曲技法の一つの到達点を見ることが出来ます。

交響曲第39番はモーツァルトらしい優美で大変明るい幸福感に満ち溢れていますが、一方で深い悲しみを感じ取ることも出来ます。モーツァルトの「白鳥の歌」と言われる所以でしょう。

この曲の楽器編成における特徴は、通常モーツァルトの交響曲で使用されるオーボエが無く代わりにクラリネットが使われていることです。このことは透明感のある美しさを醸し出す一因となっています。

<第一楽章 アダージョ アレグロ>

ゆっくりと力強い序奏で始まり、次第に密度と緊張感を増していくさまはとて聞き応えがあります。後に続く美しい旋律は、「歌うアレグロ」と呼ばれ序奏との対比が印象的です。

<第二楽章 アンダンテ・コン・モート>

冒頭の穏やかな旋律を中心とした豊かな音楽が繰り返されます。白鳥の歌にふさわしい楽章です。

<第三楽章 メヌエット アレグレット>

力強い曲想のメヌエット（宮廷で流行した舞曲）です。中間部の2本のクラリネットによる旋律が魅力的です。モーツァルトの数あるメヌエットの中でも有名なものの一つです。

<第四楽章 アレグロ>

ベートーベンのような重々しさはなく、軽やかな終楽章です。滑るように進み、最後まで疾走感を失わず一気に駆け抜けるようにして終わります。

2. トロンボーン協奏曲 L.グレンダール

「協奏曲」と聞くとチャイコフスキーのピアノ協奏曲やメンデルスゾーンのパイオリン協奏曲などピアノやパイオリンの協奏曲を思い浮かべることが多いでしょう。鎌倉交響楽団でも過去「ピアノ」と「パイオリン」の協奏曲は数多く演奏してきましたが、今回の演奏会では趣向を変え、大変めずらしいグレンダールのトロンボーン協奏曲を取り上げます。

グレンダールはデンマーク生まれの作曲家で、指揮者、バイオリニストとしても活躍しました。指揮者としては、同じデンマーク生まれのニールセンの交響曲の演奏家としてデンマーク音楽の発展に大きく貢献しました。作曲家としては、交響曲や協奏曲、弦楽四重奏曲などの作品がありますが、現在でも演奏され最もよく知られているのは「トロンボーン協奏曲」です。イタリア滞在中の1924年に作曲されたこの曲は、友人であったコペンハーゲンの王立管弦楽団のトロンボーン奏者、ヴィルヘルム・オールクローのために作曲されました。曲は堂々とした中にも厳かな雰囲気をもった第一楽章に始まります。第二楽章はこの曲で唯一「伝説曲風な」と表題が付けられており、静かで厳粛に始まります。その後美しくも幻想的な旋律が現れます。第三楽章では緊迫感をもって始まり、その後はオーケストラと独奏トロンボーンが活発にかけ合いを演じます。最後まで勢いは衰えず盛り上がりをもって終わります。このように各楽章の個性は異なりトロンボーンの魅力を十分に味わえる作品となっています。

プログラム・ガイド

3. 管弦楽のための協奏曲 B.バルトーク

ハンガリーを代表する作曲家バルトークの晩年の作品で、もっとも人気のある作品の一つです。バルトークは1940年にアメリカへ移住しましたが、その作品は理解されず同じ時期にアメリカへ渡ったストラビンスキー、ヒンデミット、シェーンベルク、ミヨーらに比べて経済的には恵まれたものではありませんでした。加えて白血病にも侵され、徐々に創作意欲を失っていきました。プライドの高いバルトークは露骨な援助を嫌っていたため、同じハンガリー出身の音楽家であるフリッツ・ライナーとヨゼフ・シゲティが知恵を絞り、やはりハンガリー出身でボストン交響楽団指揮者セルゲイ・クーセヴィツキーが「作曲を依頼する」という形で援助を申し出るようになりました。こうして創作意欲を蘇らせて作曲された作品が「管弦楽のための協奏曲」です。この作品の一番の特徴は「協奏曲」と名付けられているにもかかわらず独奏者がいないことです。バルトーク自身が「この曲を協奏曲と名付けたのはオーケストラの各楽器を独奏的、協奏的に扱おうとしたためだ」と述べています。こうした試みは依頼主であるボストン交響楽団の名手たちを考慮したためとも言われています。また、民族音楽の研究家だけあってハンガリー民謡が随所に見えることももう一つの特徴と言えるでしょう。

さて、われらが鎌倉交響楽団の名手たちはどんな活躍を見せてくれるでしょう。ご期待ください。

<第一楽章 序章>

チェロ、コントラバスによるゆっくりとした神秘的な序奏に始まり、3つの旋律が現れます。最初はバイオリンによる激しい旋律、2つ目はトロンボーンで登場、3つ目はオーボエによるどこか物悲しい旋律です。後半には2つ目の旋律を用いて、全金管楽器によるカノン（輪唱）が奏されます。

<第二楽章 対の遊び>

最初と最後の小太鼓のリズムが特徴的です。その後、2本ずつ組になった管楽器が楽しい対話を続けます。登場するのは順番に、ファゴット、オーボエ、クラリネット、フルート、トランペットです。中間部分では一転して金管楽器による静かなコラル（讃美歌風）が聴こえてきます。

<第三楽章 悲歌>

第一楽章との関連が強くオーボエ、バイオリンによる旋律は第一楽章のフルートで奏されているものと同じです。中間部分のピオラから始まる旋律は、ハンガリー語の話し言葉に近い音楽とされています。

<第四楽章 中断された間奏曲>

オーボエによる哀愁を帯びた旋律で始まりますが途中で「中断」されます。これはショスタコーヴィチの交響曲第七番の旋律をパロディー化して挟んでいるためです。バルトークはこれをクラリネットや茶化し、木管楽器の嘲笑やトロンボーンのブーイングで冷笑しています。

<第五楽章 フィナーレ>

ホルンの印象的なファンファーレで始まり、バイオリンが急速な、ジグザグに音階を行き来するエネルギーあふれる旋律を奏しますが、これが何度も登場します。中間部はトランペットのソロを中心に構成される大変華やかな終曲です。

(Tb T.S)

団員出演者名簿

名誉団長：日比谷 平一郎
 団長：山本 賢二
 ライブラリアン：石橋 智子

コンサート・マスター：五味 俊哉
 事務局長：田中 幸一
 会計：曾根 民子

マネジャー：芥川 敬 / 今城 信彦
 桐本 圭三 / 鈴木 美緒
 蛸島 茂樹

1st Violins

青木 淑子
 石川 雄太
 梅原 哲郎
 栢原 穂貴
 川西 清美
 桐本 圭三
 五味 俊哉
 ● 白水 千晶
 ● 鈴木 涉子
 鈴木 政彦
 曾根 民子
 武政 宏晃
 多田 廣之
 上門玄太郎
 馬場 潔子
 ● 本山まり子
 山岡 祐介

2nd Violins

新井 俊成
 石川 静
 石橋 智子
 岩谷かおり
 小川 穰
 ● 河原 寛
 河原勢津子
 五味 晶子
 菅井 直介
 関口 杏奈
 富岡 陽子
 上門 寛子
 中橋美木子
 長谷川眞優
 ● 福山 彩子
 八木 育江

Violas

阿部 明美
 石川 まり
 梶 成彦
 梶原 庸子
 ● 佐々木敬史
 高橋 良子
 中川 孝之
 正木 基身
 三門サカエ
 ● 水上 清

Cellos

● 飯田 達男
 大庭 伸仁
 梶 淳子
 佐藤 洋子
 志村 篤子
 鈴木 達広
 中井 良樹
 ● 中川 優子
 中野太一朗
 二川 有子
 毛利 史子

Contrabasses

大内 達郎
 佐藤 正
 ● 中村 安孝
 原 宏造
 ● 福島 晋哉
 丸 陽子
 矢野 健均
 渡辺 均

Flutes & Piccolo

菊竹 秀夫
 ● 曾根 美樹
 瀬島美奈子
 高橋 弘子
 高畑 裕恵

Oboes

● 桑野 苔菜
 中橋 英純
 山崎 一哉
 山本 賢二

Clarinets

内田千枝子
 片山眞知子
 鈴木 美緒
 ● 前沢 実
 山崎 潤

Bassoons

富井 一夫
 三原 一真
 ● 矢吹 紀子

Horns

芥川 敬
 市川 靖
 白井 賢司
 菊地 信子
 露木 朋子
 福地 亜希
 宮崎 敏幸
 山崎 和之
 ● 山田 克彦

Trumpets

後藤三穂子
 竹内 純子
 津金 勝技
 浜野 耕平
 ● 福地 稔栄

Trombones & Tuba

有賀 功
 ● 桜井 貴志
 府川 創作
 ○ 煤孫さえ子

Percussion

今城 信彦
 ● 太田 純
 高橋 正彦
 蓑田 俊之

Harp

※ 成田めぐみ
 ※ 森 真由美

Piano

※ 中澤 紗希

●：パートリーダー
 ○：団友
 ※：賛助出演

Implant Center KAMAKURA



田中歯科御成町

インプラント・審美歯科

鎌倉駅西口みずほ銀行向かい・勝烈庵2階

TEL&FAX 0467-24-0882 <http://www.tanaka-dc.com/>

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

♪第48回室内楽演奏会

日時：2010年2月13日(土) 14時開演予定
 場所：鎌倉生涯学習センター ホール 入場料：無料
 曲目：小編成のアンサンブルを予定しています。

♪第8回ファミリーコンサート

日時：2010年3月6日(土) 14時開演予定
 場所：鎌倉芸術館 大ホール 入場料：¥1,000 (全席自由・当日券有予定)
 曲目：パッパノストコフスキー編曲：トッカータとフーガ ニ短調、
 ポプ・ローデン編曲：デイスニー・マジック、
 チャイコフスキー：バレエ組曲「くるみ割り人形」、他
 インスタント・コンダクター・コーナーもお楽しみに！

指揮：小泉 智彦

♪第95回定期演奏会

日時：2010年6月5日(土) 14時開演予定
 場所：鎌倉芸術館 大ホール 入場料：¥1,000 (全席自由・当日券有予定)
 曲目：プラー姆斯：悲劇的序曲、シンデミッド：交響曲「画家マチス」、
 チャイコフスキー：交響曲第5番

指揮：上野 正博

<http://homepage2.nifty.com/kso/>

HAIR SALON

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
 (ヤのヤビルB1)
 TEL.(0467)22-4105

和風居酒屋 花のれん

▷ 営業時間 ◁

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00
 大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



信頼と確かな技術の店
 メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
 お気軽に。



- 遠中近多焦点レンズ
 - 中近多焦点レンズ
 - 近近用レンズ
- あなたに合ったメガネ
 を御調整致します。



TAKUZO

弦楽器工房 拓蔵

弦楽器製作・修理・販売

神奈川県横浜市港北区
 篠原町1497-11

TEL&FAX: 045-423-4233

■営業時間: 10:00~19:00

※10:00~13:00 予約制

■定休日: 日・月・祝祭日



vn-takuzo.com



健保・労災取扱

大船
 接骨院

佐藤和義

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門

全国すぐ
 郵送します。



KAMAKURA
 MUSI/JCA

(株)カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

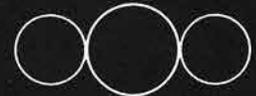
FAX.0467-22-9755

〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33

定休日 = 日曜日・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか?
 (フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307

川下方 TEL 045-865-4885

片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273

鎌倉といえば...

鳩サブレー



豊島屋

鎌倉八幡宮前通り
TEL 0467-25-0810(代)

世界で一番小さいデパート

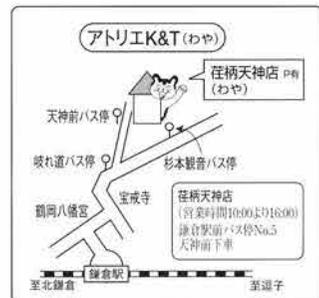
アトリエ K&T (わや)

「食料品から衣料品まで」



古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、
両手いっぱいにあります!

営業時間/10:00~16:00 営業日/木、金、土
〒248-0002 鎌倉市二階堂38-9 TEL.0467-24-5918



フリーダイヤル 0120-50-2615
<http://homepage3.nifty.com/k-t/>



Bank of Yokohama

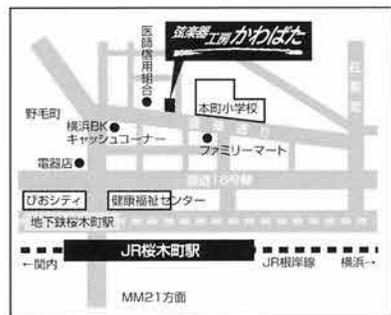
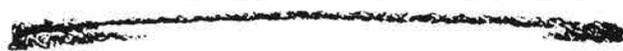
Afresh あなたに、あたらしく。

横浜銀行
鎌倉支店

TEL:0467-23-3131

《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)